

1. 案件目的
ベトナムの医療従事者の緩和ケア実践能力の強化：医療従事者を対象とした緩和ケアの研修モジュール作成と導入、看護基礎教育における緩和ケア科目カリキュラムの作成と看護学部での導入

2. 案件の概要
国立看護大学校(NCNJ)が、緩和ケア人材育成のため、看護基礎教育と医療従事者向け研修を組み合わせた取り組みを、ハイズオン医療技術大学(HMTU)と協力して実装する。1年目に実施した研修、視察、ワークショップの成果を踏まえ、2年目はHMTUにおいて緩和ケア科目を正式に開講するとともに、医療従事者を対象とした緩和ケア研修を病院に導入する。研修モジュールはHMTUと共同で作成し、ハイズオン総合病院、Viet Tiep病院、K病院(国立がん病院)において指導者育成(TOT)を実施する。

3. 案件の成果、着地点
HMTU看護学部で緩和ケア科目が正規開講され、教員研修を受けた看護教員による継続的な教授体制が構築される。緩和ケア研修モジュールが完成し、TOTを修了した指導者によって医療従事者向け研修が実施されるとともに、HMTU主体で看護師継続教育として定着する。さらに、導入したカリキュラムや研修モジュールは、看護協会や緩和医療学会を通じて紹介され、他の看護教育機関や医療現場への普及に向けた取り組みが開始される。

